

富士見市新庁舎建設基本計画（案）に関する市民説明会

質疑要旨

日 時	令和6年2月10日（土）	開会 午前10時00分 閉会 午前11時20分
場 所	富士見市役所 全員協議会室	
参加人数	24名	
出席者	星野市長 浅井副市長 古屋総務部長 平澤新庁舎整備室長	
事務局	新庁舎整備室	
概 要	1 開 会 2 市長あいさつ 3 説 明 ・新庁舎整備事業について（市長） ・富士見市新庁舎建設基本計画（案）について（新庁舎整備室長） 4 質疑応答 5 閉 会	
質疑応答・意見		
参加者	事業費の中に「外構等その他工事費」とあるが、具体的にどのような内容か。現庁舎敷地は市街化調整区域であるため、市役所は建てられないのではないか。	
総務部長	「外構等その他工事費」は、堀（水路）の移設工事費、駐車場などの整備費、公園の再整備費、分館の改修工事費等を含むものである。	

	<p>ご指摘の通り、法改正により、基本的に市街化調整区域内に市役所を建築することはできなくなっているが、当市のように用途変更の伴わない既存建築物の改築については可能である。</p>
参加者	<p>教育委員会を新庁舎に集約するとのことだが、教育委員会が移転した後の中央図書館2階のスペースはどのように利用するのか。</p>
総務部長	<p>教育委員会は、以前は本庁舎内にあったが、狭あい化により中央図書館に移転した経緯がある。移転後のスペースの活用方法は検討中であり、市内の公共施設全体の老朽化の状況等を踏まえて適切な活用方法を検討する。</p>
参加者	<p>南畑方面から市役所に向かうと富士山がきれいに見える。新庁舎は3階建てなのか5～6階建てなのか不明だが、現在より背の高い庁舎になるものと推察する。最上階に市民広場として富士山の見えるスペースを確保してほしい。</p>
総務部長	<p>具体的な階数は設計の中で決定するが、現庁舎よりは高い建物となる想定である。延床面積をもとにした見込みでは、4階から5階程度になるものとイメージしている。</p> <p>なお、富士山や市内が眺望できる回廊の設置について検討する旨を基本計画（案）に記載している。</p>
参加者	<p>新庁舎建設工事中、執務はどこで行うのか。</p>
総務部長	<p>仮設庁舎が必要になると費用面に影響するため、配置計画の中で、様々な案を検討してきた。基本計画（案）は、現庁舎を使用しながら現本庁舎裏側の駐車場部分に新庁舎を建設するという内容になっている。</p>
参加者	<p>新庁舎整備の基本的な考え方に「富士見市らしく」とあるが、具体的にはどのようなものか。</p>
総務部長	<p>基本計画（案）では、建物の内外装に市に関わりのあるデザインを取り入れることなどを検討する旨を示しており、富士見市らしい色や意匠、仕掛けを入れていくという考えである。今後も市民の声も参考にしながら検討していく。</p>
参加者	<p>災害リスクについて。建物をかさ上げして新庁舎を整備するのか。庁舎だけでなく、周辺も含めた浸水対策が必要ではないか。</p>

総務部長	<p>1階部分をかさ上げして駐車場等とし、2階以上を執務スペースとすることも検討したが、建設コストが大幅に上がること、平常時は1階に窓口等があったほうが利便性に優れることから、現在は想定していない。ただし、2階は5m以上とするとともに、主要な電気設備機器や災害対策本部は想定浸水深以上の高さに整備する。雨水対策は別途しっかりと検討して実施する。</p>
参加者	<p>市街化調整区域内に新庁舎を建築することになるため、制限も多いのではないかと。市街化区域へ変更することは考えなかったのか？</p> <p>各エリアにおける必要面積について、狭あいな執務スペースの面積を見ると、現庁舎と広さがあまり変わっていないように思われた。職員のスペースをしっかりと確保したほうがよいのではないかと。</p>
総務部長	<p>現時点で市役所周辺のシティゾーンを市街化区域に編入する見込みはないが、シティゾーンの考え方は都市マスタープランに基づいて継続的に検討したい。</p> <p>職員のスペースについては、建設コストも勘案して、グループアドレスの採用やデジタル技術の活用、将来的な職員数の減少等を見越して設定している。ただし、現庁舎よりは少し広げており、今回示した面積で車いすが通れる通路も確保できると想定している。現状の執務室面積には書類等の保管のスペースも多く含まれており、文書量の削減に取り組むことで実際に利用可能なスペースが広がることから、数字の差よりもゆとりが生じると考えている。</p>
参加者	<p>200 m²程度が増えても狭あい化の解消にはつながらないのではないかと。市の職員が余裕をもって仕事ができるスペースを確保することが重要ではないかと。</p>
総務部長	<p>面積は今後の設計においても変更の可能性がある。現在でも委託業者の知見も踏まえて面積設定しているが、設計段階で図面化を行い、レイアウト等の検討していく中でコストとのバランスを見ながら検討していく。</p>
参加者	<p>災害時にヘリコプターが停まれるようになれば機能向上につながると思われるが、想定はあるかと。</p>
総務部長	<p>現時点でヘリポートの設置は想定していない。災害対策については、免震構造の採用など、さまざまな観点から地震・水害等への対策を検討していく。</p>

参加者	<p>やりたいこととお金とのバランスが必要かと思う。財源として現在想定している地方債 85 億については、どのように償還していく計画になっているか。</p>
総務部長	<p>現在の想定では 20 年をかけて償還する想定である。現在の試算では、20 年をかけて償還する場合、年次により変動があるが、金額が大きい年で 5 億円程度となる。</p>
参加者	<p>市内には耐震性が危うい保育所、手狭な給食センターなど、ほかにも考えなければいけない公共施設がある。健康増進センターの跡地をどうするかということも含め、公共施設全体の計画を示してほしい。利用者の声を聞きながらも、財政に配慮して計画してほしい。</p>
総務部長	<p>市内には人口急増期に建設した施設が多く、老朽化が進行している。庁舎については、近年の物価上昇等も勘案しながら今後も検討していく必要があるが、その他施設については公共施設マネジメント計画として全体で検討している。</p> <p>公共施設の集約化に伴って、全体としてどのように対応していくかは、継続的に検討する。一定程度考え方がまとまり次第、市民の声も聞きながら計画を取りまとめていきたい。</p>